

健康福祉学科は3コース制

「福祉」とは「幸せ」のこと。健康福祉学科では、人々が健康で楽しく幸せに生きるための手助けをすることを目的として学んでいきます。人生・生活の質を高めるためのさまざまな方法を学ぶことで、知識と実践力を身につけることができます。



スポーツ健康コース

スポーツや健康に関することを重点的に学ぶコースです。多くの人がスポーツに親しみ、地域がスポーツや健康づくりによって活性化していくことを目的に学びを深めます。実技授業が多く、実践的な力が身につくのも魅力。部活動の経験も大いに生かれます。さらに、取得できるスポーツ系の資格も充実。将来は即戦力として活躍することも可能です。

介護福祉コース

介護福祉士を目指すコースです。介護福祉士は、誰かの役に立ちたいと考える人にぴったりの仕事。その人らしさを考えながら人生に寄り添い、より幸せな暮らしのために手助けする仕事は、やりがいにあふれています。高齢者が楽しめる運動メニューを企画・実践するなど、スポーツ経験を生かす機会も豊富です。また、今、注目されている介護予防についても学ぶことができます。

社会福祉コース

社会福祉士を目指せるのはもちろん、社会人スキルなどの役立つ学びや経験が多いため、将来の選択肢が広がるコースです。いろいろな職業の社会人と出会う機会も多いので、福祉職以外でも役立つ情報が満載。コミュニケーション力アップにつながります。「なりたい自分」を実現するために、部活動やアルバイトなどと両立しながら、さまざまな出会いや経験を通して自分らしい将来の選択ができます。

部活動を続けながら夢の実現も目指す

選択したコースで広く深く学べる



スキー部で、日本や世界で活躍する先輩から刺激を受けながら充実した部活動生活を送っています。一方、将来は社会福祉士として児童相談所か病院に勤めたいと考えており、日々の授業で学びを深めています。部活動でも学業でも夢に向かって頑張れるのは先生方のサポートのおかげです。

健康福祉学科3年
スキー部所属
佐藤 美悠さん



バスケットボール部で活動しながら、介護福祉士を目指しています。北翔大学は先生と生徒の距離が近く、実技授業では各グループに一人先生がついてくれるため、丁寧に指導してもらえます。授業の中で国家試験問題を解く機会もあり、実践的な力を磨けるのもありがたいと思っています。

健康福祉学科3年
男子バスケットボール部所属
竹森 匠利さん



「好き」を生かして、スポーツで未来を拓こう。

スポーツ健康コースが誕生！

健康福祉学科の中に、スポーツや健康をより重点的に学べるコースが誕生しました。
スポーツにとことん打ち込む4年間を一緒に過ごしましょう！

先輩たちもスポーツに熱中

部活動との両立が可能

先輩たちの熱い思いと、サポートする先生方の声を紹介します。



部活動に打ち込める環境を重視して大学を選びました。今は、試合に出続けられるよう結果を出そうと頑張っています。監督の渡部先生は、栄養面から生活面まで全面的に指導してくださるのでとても心強いです。

硬式野球部所属 健康福祉学科3年
黒岩 虹太さん

日頃から、野球の技術だけでなく「人間力」を磨いてほしいと話しています。野球部の学生たちは、学業と部活動のみならずボランティア活動にも積極的に取り組んでいる努力家ばかり。彼らがどのように成長するか楽しみです。

硬式野球部監督
渡部 峻先生



北翔大学の魅力は、部活動を行う学生へのサポートが手厚いことだと思います。特に南部監督は、資格取得や希望就職先などについて親身に相談のってくださるので、安心して部活動と学業を両立できています。

男子バレーボール部所属 健康福祉学科3年
佐羽内 優太さん

競技と学業の両立は容易なことではありませんが、タイムマネジメントをすることによって両方でトップを目指す学生がたくさんいます。ここで養った優先順位を考えて行動する力は、卒業後も強みとなるはずです。

女子バスケットボール部顧問
横山 茜理先生



北翔大学のバレーボール部は全道でもトップクラスと知り、学業に励みつつ高いレベルでバレーができると思って入学を決めました。技術だけでなくコミュニケーション力など、将来にも生かせる力が身につくと感じています。

女子バレーボール部所属 健康福祉学科2年
福山 夏実さん

自我を貫くだけでなく、より良い方向性を見出そうとしているのがバレーボール部の良いところです。どうしても良い結果を導くことができるのかを考え、努力することの大切さを感じながら諦めずに取り組んでほしいと思います。

男女バレーボール部顧問
永谷 稔先生



いろいろな人とつながりを持つことや苦手の短距離種目を克服するためにさまざまな練習ができることが、北翔大学水泳部の魅力です。現在は全国19位なので、10位以内に入ることが目標にしています。

水泳部所属 健康福祉学科3年
濱野 巧さん

水泳部は自主性の高い部活です。オンオフをしっかり使い分け、日々のトレーニングを行っている点を高く評価しています。少しでも練習しやすい環境を整え、パフォーマンスを高められるよう、サポートに努めています。

水泳部顧問
花井 篤子先生



スポーツ系の資格も充実

資格取得や公務員試験対策も手厚くサポート

スポーツ健康コースでは、取得できるスポーツ系の資格が充実！「健康運動指導士」や「健康運動実践指導者」などの資格が取得可能です。経験も実績も豊富な先生方が、学生一人一人の進路に合わせた支援を行うので安心して資格取得を目指せます。また公務員を目指す人には、公務員講座でしっかりとサポートします。

取得できる資格

- ・健康運動指導士
- ・健康運動実践指導者
- ・社会教育主事任用資格(社会教育士)
- ・レクリエーション・インストラクター
- ・初級障がい者スポーツ指導員

「スポーツ+福祉」で強い

スポーツの経験を生かして就職もしっかり

スポーツの経験や学びは、さまざまな仕事に生かすことができます。例えば、「健康運動指導士」の資格を取得して、介護予防の現場でスポーツ活動の企画・実践を行うのもその一つ。特に地域や福祉の現場では、スポーツ経験豊かな人材を求める傾向にあるので、即戦力として活躍できます。



令和2年卒業 共和町役場職員
小嶋 将史さん

共和町役場で、農地の貸借や農業者年金の取扱いを行っています。現在の配属先では、社会福祉士の資格を生かす機会は少ないですが、住民の意思に寄り添った関わり方は大学で学んだことだと実感しています。



平成23年卒業 「まる元」指導者
鳥井 直人さん

運動施設での運動指導員を経て、現在は「まる元※」という介護予防のための運動教室を実施しています。在学中はスポーツ系科目をメインに学んでいましたが、すべてが今に生きていますと感じます。
※地域まるごと元気アッププログラム



令和2年卒業 特別支援学校教諭
檜山 康太さん

とにかく子どもが大好きなので、教員を目指しました。肢体不自由の子どもたちを受け持つには、身体の構造を理解していることが必要なため、在学中に基礎解剖学などで学んだ知識が役立っています。

先生との距離が近い

少人数ならではの丁寧な指導

スポーツ健康コースがある健康福祉学科は、少人数でアットホーム。「学科全体で仲が良い」、「居心地が良い」という学生がたくさんいます。先生との距離が近いので、困ったときに気軽に相談できるのも魅力。きめ細やかで丁寧な指導を受けることができます。

